

新入荷商品のご紹介



上品で落ち着いた昔ながらの伝統技法で作られる竺仙の奥州小紋ゆかた。上質な糸使いは、ほかの浴衣とは圧倒的に違う手触りを導いています。

竺仙 奥州小紋 ゆかた
68040円



衿秀 夏 帯締め
8640円

かっこいい夏のコーディネートにかなりのウェイトを占める帯締めの色使い。さがしてもなかなか気に入った色がないのですが、この帯締めはモダンでピリッとしたいい色使いをしています。



桐生織 半幅帯
(ポリエステル)
8400円

浴衣と合わせやすいピンのグラデーションが印象的な半幅帯。しなやかで締め心地もよく、裏は全く違うかわいい角通しの柄なので、まったく印象が変わります。



米琉上布
32400円

手織りでさらっとした上質の布。着物好きのリクエストから生まれたという現在では一人の方しか織ることのできない、めずらしい織物です。単衣と夏兼用できます。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2016年8月号

ごあいさつ



我が家の子供たちも夏休みになり、毎日毎日時間を余している子供たちと格闘する日々。自分が子供のころは何をやっていたんでしょうね。虫を取ったり、プールに行ったり、ゲームをしたり、スポーツをしたり。時間がいくらあっても足りなかったような気がします。できることなら変わってほしいと現実逃避する今日この頃です。暑い日が続きます。体調を崩さないように気を付けましょう！

特集 黄八丈の産地を訪ねて



先日生まれて初めて八丈島に行ってきました。八丈島は羽田から40分ほどで、車で走っていると東京都事選のポスターが貼ってあり、ここは東京都なんだと実感します。溶岩の噴火でできた独特の風景に魅了されます。八丈島といえば、『黄八丈(きはちじょう)』という織物が有名ですが、皆さんも一度はきいたことがあるのではないのでしょうか。

『黄八丈(きはちじょう)』の特徴はカリヤス(黄)、タブノキ(茶)、シイ(黒)の三色の草木しか使わないことと、緋による柄付けがないこと。このことが黄八丈を日本でも稀有な織物として存在するゆえんだと今回訪れた『黄八丈めゆ工房』の山下さんはおっしゃってられました。また、特徴的なのが打ち込みの強さ。現場で見せていただくと、明らかにほかの産地の機織りとは違う強い機織りの音が聞こえてきます。右の下の写真は織りあがった着物を湯通しているところです。湯でのり気を浮かしたあと、写真のようにたわしでこすってのり気を落としていきます。生産量も少なくお値段もすごく高いのでお見せすることがなかなかできませんが、機会があったらまた、ご紹介させていただきます。



twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539